

群馬県繊維工業試験場の拡充について（改訂継続）

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の公的施設として群馬県民の誇りであり、また、研究開発、技術支援、人材育成・情報提供、産地課題への対応など、群馬県の繊維業界を全面的にサポートする様々な施策を積極的に展開している機関であります。

繊維業界を取り巻く環境は、東南アジア市場を中心に繊維製品の低価格化で推移しております。繊維産業の縮小、技術者の高齢化、後継者不足など縮小傾向への連鎖が危ぶまれている中、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録され、また、「かかあ天下〜ぐんまの絹物語〜」が日本遺産に認定と、群馬の“繊維”が衆目を集めるところとなっています。

これを好機と捉え、群馬県繊維工業試験場の存在意義を高めると同時に、更なる機能充実を図るために、最新機器の導入などの設備の整備、研究員等の人員配置拡充、そして敷地内の未使用施設の活用等について、積極的かつ充実した支援体制を取られることを切望いたします。

【桐生市からの回答】

群馬県繊維工業試験場の設備・人員などについては、群馬県の施設・職員であるため、直接的な回答はできませんが、全国で唯一の繊維に特化した公設試験場であり、繊維産地として繊維関連中小企業が多い本市にとって、極めて重要な施設であると認識しております。市ではこれまでも、同試験場と市内繊維関連企業との連携促進を図りながら、同試験場が行う研究開発や技術支援、人材養成などの取り組みに対して必要な支援を行っておりますが、こうした取り組みが同試験場の存在意義を高める効果もあると考えております。

今後も、同試験場と連携を密にしながら、繊維産地の振興を図るとともに、同試験場の成果拡大を促進し、存在意義を高める中で、同試験場の機能充実、人員拡充などを推進してまいりたいと考えております。

【回答担当】産業経済部産業政策課工業労政係